



第367回 6月定例会

一般質問

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-----|
| まつもと | ひであき | まつもと | あきのり | |
| ・松本英昭 | ・松本哲昇 | ふじもと | しゅうぞう | |
| ほりい | かずみ | ・藤本修造 | すずがき | はじめ |
| ・堀井算満 | ・藤本修造 | ・鈴木元 | ふじい | たまお |
| かしま | じゅん | ・藤井玉夫 | | |
| ・加島淳 | ・藤井玉夫 | | | |
| やまなか | おさみ | | | |
| ・山中修己 | | | | |
| かわな | よしぞう | | | |
| ・川名善三 | | | | |

議案質疑

- | | | | |
|-------|-------|------|------|
| よしだ | しげひろ | かわしま | のぶゆき |
| ・吉田成宏 | ・河島信行 | | |
| たけうち | おさむ | | |
| ・竹内修 | | | |

■ ■ ■ 議会傍聴 ■ ■ ■

6月定例会 47人

秋の収穫が楽しみ!!

農業体験をする神戸の小学生

(神戸電鉄粟生線の利用促進と地域交流に向けて)

6月定例会終わる

- こんなことが決まりました…… 2～3
- 常任委員会の審査報告…………… 3
- 一般質問と質疑の発言者…………… 4
- 一般質問と質疑の内容について… 5～10
- 行政視察報告…………… 11
- 議会の動き…………… 12



6月定例会

じんなじとが決まりました。

6月定例会は、5月31日から6月24日まで25日間開催しました。一般会計補正予算をはじめ、条例制定及び人事案件などを含む議案6件を原案のとおり、「可決・同意しました」。

一部改正された条例

小野市職員の育児休業等に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、配偶者が育児休業している職員も育児休業することができるよう改正。また、3歳未満の子を育児するための時間外勤務免除規定の新設など。

小野市税条例の一部を改正する条例の制定について

地方税法等の一部を改正する法律の施行を受け、年少者の扶養親族等の扶

養控除廃止に伴い市への扶養親族申告制度を創設。たばこ税の引き上げ(1、000本3、298円↓4、618円など)。また、小口投資家を対象とした上場株式等の配当及び譲渡所得の非課税制度の創設など。

小野市福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

重度障害者医療助成の所得制限にかかると判定について、21年度税制改正による住宅借入金等税額控除を行う前の額となるよう規定を追加。また、母子家庭等医療助成において、医療給付の範囲に後期高齢者医療を追加。

主な議案

字の区域の変更について

「久保木町字鳥屋塚2552番3、同町同字2553番」を「住吉町字池ノ下2552番3、同町同字2553番」に変更。

人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

久保田景江委員が本年12月31日で任期満了となるため、同氏を再任するため。

補正予算関係議案

平成22年度小野市一般会計補正予算(第1号)

補正額 47、300千円 追加
総額 18、447、300千円

平成22年度 一般会計6月補正予算概要

(単位：千円)

	内 容	補正額
新規	学術政策員(広報アドバイザー)の配置	900
新規	子宮頸がんの予防接種経費の助成(1回につき半額相当7,500円を助成)	6,800
新規	小児細菌性髄膜炎(Hibワクチン及び肺炎球菌ワクチン)の予防接種経費の助成(1回につき半額相当4,000円を助成)	5,600
新規	普通学級における特別支援教育の推進(専門家による教職員への研修及び指導助言)	240
新規	国民投票にかかる投票人名簿システム構築	360
追加	日本脳炎予防接種の積極的推進と接種費用の増額	2,200
追加	白雲谷温泉ゆびかの決算確定に伴う基金積立	31,200

補正総額 47,300

一般会計補正予算の主な内容

今回の補正予算は、県内で唯一実施している中学3年生までの医療費の完全無料化に加え、子育て支援や安全安心に対するPM(Preventive maintenance) Ⅱ(予防保全)の観点から、近年増えつつある子宮頸がんに対する予防接種や小児細菌性髄膜炎予防接種(Hibワクチンと肺炎球菌ワクチンの2種類)に対し、接種経費の約半額を助成します。この他に、小野市の魅力をより幅広く効果的に発信するため、的確な広報戦略に基づいた行政広報・地域広報を行う広報アドバイザーの配置や、普通学級に在籍する発達障害等のある児童生徒を支援するため、専門家が各学校を巡回し、教師への授業研修や指導助言を行う経費等を計上しています。また、白雲谷温泉ゆびかの21年度経常黒字額31,200千円(対前年度比20%増)を、将来の設備投資に備え、基金に積み立てます。

【各常任委員会に付託された議案】

【総務文教常任委員会】

- ・議案第36号 平成22年度小野市一般会計補正予算(第1号)
 - ・議案第37号 小野市職員の育児休業等に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・議案第38号 小野市税条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・議案第40号 字の区域の変更について
- 採決の結果、全議案について全員賛成により可決すべきと決まりました。

なお、審査する過程において、「市の男性職員や女性職員が、これまでよりも育児休業が取得しやすいような環境整備となるよう、市職員にやさしい職場づくりに取り組まれない。」との意見がありました。

【民生保健常任委員会】

- ・議案第36号 平成22年度小野市一般会計補正予算(第1号)
- ・議案第39号 小野市福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

採決の結果、全議案について全員賛成により可決すべきと決まりました。

【地域振興常任委員会】

- ・議案第36号 平成22年度小野市一般会計補正予算(第1号)
- 採決の結果、議案について全員賛成により可決すべきと決まりました。

6月定例会の提出議案の審査付託について、6月22日、総務文教、民生保健、地域振興、各常任委員会を開催しました。審査付託議案は、議案第36号から38号および議案第40号の4議案であり、市当局から説明を受け、慎重に審査しました。

常任委員会審査報告



慎重に審査する各委員(総務文教常任委員会)



国宝浄土寺周辺の散策を楽しむ皆さん

(一般質問・質疑は発言した議員が編集しました)

平成22年 6月定例会

市議会HP内の「市議会ビデオライブラリ」からも、議会の様子をご覧いただけます。

HPアドレス：<http://www.city.ono.hyogo.jp/~gikai/>

一般質問発言者

松本英昭議員

- ・らんらんバスについて
- ・部活動について

松本哲昇議員

- ・学校給食センターの運営と改築について
- ・公用車の貸し出しサービスについて

- ・公共サービス改革の推進について
- ・公契約について

掘井算満議員

- ・自殺防止対策について
- ・特定外来生物による被害対策について

藤本修造議員

- ・心肺蘇生について
- ・神戸電鉄について

加島 淳議員

- ・全国ハープサミット小野大会について

質疑発言者

吉田成宏議員

- ・議案第36号 平成22年度小野市一般会計補正予算(第1号)について

河島信行議員

- ・議案第36号 平成22年度小野市一般会計補正予算(第1号)について

竹内 修議員

- ・議案第36号 平成22年度小野市一般会計補正予算(第1号)について

- ・市内で行われるプロゴルフ大会について
- ・更なる市民サービスの向上について

鈴垣 元議員

- ・フェニックス共済について
- ・児童公園の改良について
- ・ポケット公園の管理について
- ・らんらんバスの運行について
- ・国への要望項目について

山中修己議員

- ・福祉総合支援センターの整備について
- ・高齢者の交通安全対策について
- ・住宅用火災警報器設置について

藤井玉夫議員

- ・住民自治の推進について
- ・小野市総合計画の策定について
- ・シルバー人材センターの活動拠点整備について

川名善三議員

- ・不用品回収について
- ・子育て支援ひまわりプランIIについて





研政クラブ

松本英昭議員

らんらんバスについて

質問 バス停のベンチの設置について

答弁 全てのバス停へのベンチの設置は難しいと考えますが歩行者の安全が確保できる十分な場所がある箇所については設置して参ります。

質問 サティ乗り入れについて

答弁 平成22年10月頃実施するルート変更やダイヤ改正とともに実施する予定です。国の社会資本整備総合交付金を受け、並行してバスターミナルの工事を行う予定です。

質問 増便について

答弁 3台という限られた台数をフル活用し運行しているため、増便による他ルートへの影響が大きいこと、また、増車についても厳しい財政状況の中での運行を行っていることから、現段階での増便は難しい状況にあると考えます。

質問 デマンドバス事業について

答弁 大型デマンドバスや小型デマ

ンドバスを活用し、工場見学ツアーや公共施設見学に加え特産品などのお買い物と昼食をセットにしたグルメツアーなどの企画による運行を始めました。

質問 コミュニティバス運行の今後について

答弁 ①サティへのバスターミナルの設置とネットワークの構築 ②市民病院やコミュニティセンターへの乗入れ ③フリー乗降制の導入(バス停以外の乗降可) ④集落及び団地内道路への運行 ⑤車輛導入・更新 ⑥買い物時間、診療時間、登下校に合わせたダイヤ改正などの各種施策を実施します。(副市長)

部活動について

質問 教員の救護処置について

答弁 万一の事故や災害を想定した訓練の実施、AEDを使用した心肺蘇生法の研修、緊急時の連絡体制の確立等、学校安全計画及び、危険等発生時対処要領を作成して安全教育を推進しています。(教育長)



清風クラブ

松本哲昇議員

学校給食センターの運営と改築について

質問 平成21年、学校管理衛生管理基準が変更されましたが、給食センターの運用はどうなっていますか?

答弁 管理基準の変更に伴い、県の指導を受け、現施設で対応可能となるよう、長靴から運動靴に変え、ドライ運用に変更、器具等の設置、汚染区域と非汚染区域の線引きなどあらゆる対策を行い、管理基準を満たして運用しています。

質問 改築時期はいつになりますか?

答弁 改築につきましては、運営方法、委託、民営も視野に入れ総合的に検討してまいりたいと考えています。(教育次長)

質問 現在のところまったたくの白紙の状況でありますか?

答弁 現在のところまったたくの白紙の状況であります。(市長)

公用車の貸し出しサービスについて

質問 休日の市民活動支援に、公用車の貸し出しを行う必要があるかと考

えませんが?

答弁 市公用車は職員以外、運転時の事故等には一切保険適用がされません。まちづくりには市民は協働の理念に基き、身の回りのことは自ら行動するとともに進んで参加し、自主自立の意識を持つことが大切であると考えます。貸し出しについては現段階では考えておりませんが、市民の役割分担を考え支援のあり方は研究を行っていきます。(総務部長)

公共サービスの推進について

質問 臨時職員、嘱託職員の雇用安定について

臨時職員については、労基法のとおり3年で退職させたい。よそでは契約社員に切替える話もあるが、雇用安定を考えると問題もあり、市民サービスを考えると定常業務としての市関連会社への委託等も考えられるか?

答弁 臨時職員雇用が一番コストがかからないと考えており、3年雇用が不安定とは考えていない。(市長)



研政クラブ
掘井 算満 議員

自殺防止対策について

質問 経済不況の中、自殺者が年間3万人を超え、1日100人前後が尊い命を自らが絶っている。平成18年自殺対策基本法の制定により、国では「自殺対策100日プラン」を、兵庫県も「自殺対策推進本部」を設置して取り組んでいる。小野市では、年間10名前後の自殺者が発生しているがその防止対策はどう取り組まれているのか。

答弁 自殺対策基本法に基づく防止施策の策定は、県及び政令指定都市が対象となっている。他の市町村は県施策への協力、普及啓発などに取り組みることとなっており、法に基づいた、本市独自の自殺防止対策に関する計画書は策定していない。しかし、市民安全部での多重債務を含む各種の相談窓口を開設し、自殺防止対策を含め慎重に対応している。
(市民福祉部長)

特定外来生物による被害対策について

質問 この問題は、平成17年第340回市議会定例会において指摘したところであるが、その後に於いてもアライグマ、ヌートリアの被害が年々拡大し、春夏野菜に至っては、柵なしでは収穫が見込めない状況である。外来生物ではないが、シカ、イノシシの生息状況は、加西市北部、加東市光明寺地区まで進んでおり、小野市への生息も間近に迫っている。ジャンボタニシ駆除事業補助金交付要綱と同様に、有害鳥獣駆除事業要綱を定め、被害防止に取り組んではと考えるが、どうか。

答弁 平成21年度の捕獲数は、アライグマ64頭、ヌートリア11頭で年々その数が増加しており、一定の効果を得られている。「箱わな」の免許取得をお願いするなど、その啓発に取り組んでいる。今後、被害対策として、捕獲方法はもとより、技術支援や財政面での支援を県に要望して参ります。
(地域振興部長)



市民クラブ
藤本 修造 議員

心肺蘇生について

質問 心肺蘇生法を通じ「命を大切に」する地域づくりの構築を目指しています。これを通じて地域力の向上と住民の意識を「公」に導きたい。地域や各団体の独自性を大切にしながら、行政が如何に指導するのか、またその方向に導いていくのか伺います。

答弁 「小野市は命を大切にしますよ」このキャッチコピーは戴いておきます。
繰り返し心肺蘇生法の講習会を開くことが大切だと考えます。やることと見える成果を出すことは別であり、一番大切なことは「見える成果」が出ることを期待します。そして実態を把握して、必要があると解かれれば予算計上する。訓練キットが不足し訓練に支障をきたしているとすればすぐにでも手当てはいたし

質問 市長の答弁の通り「見える成果」を出そうとすると、あなたの提案は如何なものか？
私の予想通りの答弁でした。しかし時間は掛かりますが究極の目標値に据えて、この施策に取り組む小野市でありたいと願っています。訓練キットの費用を行政に求めるものではありません。
地域づくり協議会や、自主防災組織や、子ども会単独で、自らが5〜10体を準備し、心肺蘇生を通じて「命を大切に」地域力の向上を目指したいと考えています。
「みんな考えてみましょう」と言う施策です。見解を伺います。

答弁 これこそポジティブシンキングであります。前向きに考え、前向きな意見の中に新しい施策が生まれます。その本質を見抜く力が双方に求められています。
(市長)



改革クラブ
加島 淳 議員

市内で行われるプロゴルフ大会について

質問 来年5月に小野東洋ゴルフクラブで「日本プロゴルフ選手権」が、また8月には小野ゴルフクラブで「関西オープン」が開催される。全国に小野市を発信する絶好のチャンスと捉えるが当局の考えは。

答弁 日本プロゴルフ協会との協議は必要との前提ではあるが、これらの大会を後援したい。副賞として当市の特産品などを提供できないか検討を進めていく。

質問 これらの大会には全国から多くの来場者が見込まれる。神戸電鉄JR加古川線とタイアップし利用促進を図っては。

答弁 鉄道は、他の公共交通機関に比べて大量性、速達性、定時性などの面において優位性を発揮する。ま

た環境面でも大きな効果が期待できる。今後神戸電鉄粟生線活性化協議会を中心に、大会の主催者や関係者と積極的に交渉して行く。

質問 トーナメント会場では、協賛企業がいろいろなブースを設置し、自社の商品のPRに努めている。小野市のブース設置の考えは。

答弁 「小野うまいもんブランド」や「地場産の農作物の販売」ブースを設置し、全国に小野市のPRを図っていききたい。また、「小野の名物」となるような商品の開発を積極的に取り組みたい。

質問 ゴルフ場利用者の利便性をより高めるためにも、ぜひとも現在凍結中のホテル建設が急がれると考える。ホテル建設の状況は。

答弁 ホテル建設は3カ年延期となっている。少しでも早く着工していただきたいとの思いで定期的に情報交換を行っている。引き続き早期着工を要望していききたい。(副市長)



日本共産党
鈴木 恒 元 議員

フェニックス共済について

今回取り上げた質問は、5月に近隣10カ町で議会報告会を開催した際、市民から出された意見の幾つかをとり上げました。フェニックス共済は、

阪神淡路大震災の教訓を踏まえ、兵庫県が全国に先駆けてつくった住宅再建共済制度。平常時から資金を寄せ合い、いざという時のため備えるもので、昨年の佐用町の水害による住宅被害は大きな教訓でした。小野市でも、平成16年の23号台風による浸水家屋被害が記憶に新しいところで、共済加入促進に力を入れているところですが、啓発の方法で行き過ぎた点があるとして質しました。

質問 共済の加入促進に関し、県から各市町への依頼内容は。

答弁 知事は当初、目標加入率を15%に定めたが、一年後の加入率は5.2%、その後は時あるごとに、加入率

向上の取り組みを各市町長・幹部に依頼されている。市は、共済加入は防災意識高揚による「災害に強いまちづくり」に大いに寄与すると考え、平成18年から3年間、負担額の半額助成をするなど積極的な加入促進に努めてきた。(市民安全部長)

質問 議会・区長会における市長の加入促進発言には、一般行政と関連づけた部分が見受けられる。任意である共済加入と公平であるべき行政執行を関連づけるのは好ましくない。

答弁 共済の加入率は、地域住民の安全を一番に考えるべき区長・自治会長さんが地域のリーダーとして、防災についてのリーダーシップ発揮の指標と考えている。又、地域のまとまり、地域住民の協働、参画、共助の意識の表れ等、地域力のバロメーターといつて過言でない。このような思いから加入促進を強くお願いしている。行政執行と関連づけているようなことはありません。(市長)



市民クラブ
山中修己議員

福祉総合支援センターの整備について

質問 1億5千万円の予算を計上している福祉総合支援センターの機能・建物・アクセス等について問う。

答弁 機能としては、福祉ボランティアなどの育成・支援にあたる社会福祉協議会と、在宅介護事業を行う福祉公社の二つを統合し、フォーマルな介護サービスと、市民活動による福祉サービスの一体的支援を、ひとつの手続きで連携させるようにすることです。また、高齢者への包括的な支援を行う地域包括支援センター、障害者地域生活・相談支援センターの集約により、多機能で効率的な福祉総合支援を展開する考えです。さらに、高齢介護課、健康課の機能を加えたワンストップサービスのあり方も検討しています。建物については当初「みやま荘」をリニューアルする予定でしたが、現有

施設が昭和47年築で耐震補強、柱や壁の位置等、予定している機能を運用するには問題があることから、施設改修ではなく、全面改築へと変更せざるを得なくなっています。検討中の建物は一部2階建て、約1、300㎡あまりで、工期については1カ年程度見込んでいます。センターへのアクセスは利用者が高齢者、障がい者、乳幼児や妊婦であり、道路横断を含めた来館者の安全面に配慮した施設の利用形態になるよう、検討してまいります。娯楽施設について現在利用者は約2万人ありますが、センターの機能とは異なることから、福祉公社跡の活用、コミセンでの対応などを検討しています。

再質問 全面改築となると予算が不足します。福祉基金を活用すべきではないでしょうか。

答弁 その通りです。機能を満足させ、できるだけ効率的なものにするため、補正予算が必要です。事前に議員協議会で説明させていただく予定です。
(副市長)



改革クラブ
藤井玉夫議員

住民自治の推進について

質問 地方分権、参画と協働社会の構築にむけての公民館建設等の助成支援及び自治基本条例制定についてどう考えているか。

答弁 自治会活動は地域と行政のパートナーシップと役割分担のもとで、地域住民が主体となって地域の課題を解決していくことが重要と考える。公民館施設については、既に建設されている自治会との公平性の観点から問題もあり、トイレ、段差解消などバリアフリー化への助成は今後研究していきたい。(総務部長)

小野市では、一貫した行政経営の基本理念と不変の行政経営戦略4つの柱をベースとして、成果を重視した小野市独自の方針管理制度を展開しており、今のところ自治基本条例制定の考えはない。(小林副市長)

小野市総合計画の策定について

質問 今後の小野市の将来のあり方として、平成32年度を目標とした「小野市総合計画」の策定作業が行われているが、その進捗状況と市民意見の反映は。

答弁 「まちづくりモニター」制度、「市民意識調査」などで市民からの提案や意見等を反映すると共に、市民、学識経験者及び関係機関職員で構成する「小野市基本構想審議会」及びそのグループ委員会で十分審議し、本年度中に、次期・総合計画を策定する予定で作業を進めているところである。(小林副市長)

シルバー人材センターの活動拠点整備について

質問 高齢社会を迎え、シルバー人材センターの拠点整備の目標年次等はどのように考えられているか。

答弁 基本計画「高齢者支援の充実」の観点から、平成24年度の完成を目標に、新設、既存施設の活用を両面から検討したい。(地域振興部長)



公明党

川名善三 議員

子育て支援ひまわりプランIIについて

不用品回収について

質問 市内を巡回して不用品回収している業者の実態把握について

答弁 市内を巡回し不用品の回収を行っている業者の存在は承知しているが、市外の業者が回収を行っているケースもあり、市内で活動している業者数など、正確な実態は把握できていないのが現状である。

質問 苦情と対応について

答弁 市の消費者相談窓口や環境担当には、今のところないが、今後、料金等に関するトラブルが発生する可能性がある。よってトラブルに遭わないよう、機会あるごとに広報等を通じて、市民に広く周知したい。

質問 実態調査とルールづくりは

答弁 関係法令に抵触する疑いがあれば、警察などの関係機関と連携し調査したい。適切なルールづくりについては、現状では現行の法令等に対応する。
(市民安全部次長)

質問 これまでの計画の成果と課題について

答弁 成果としては環境面において、具体的には中学3年までの医療費の完全無料化、脳科学理論に基づく16カ年教育、市民病院の小児科救急拠点病院など日本経済新聞行政サービス調査ランキング、子育て環境部門で近畿第1位と位置付けられた。課題としては充実した環境面を住民自らの行動面においてその効果をより高める地域コミュニティの促進にあると思われる。

質問 病後児保育及び夜間保育、子育て短期支援事業、特別保育事業への今後の取り組みは

答弁 病後児保育はこれまで開設に向け調整してきたが、近隣市の実施状況の稼働率が低調であることから、今後もし引き続き検討していく予定である。又他の3事業は本市の地域特性などから、現状では目標設定とする予定はない。
(市民福祉部長)



議案質疑

清風クラブ

吉田成宏 議員

平成22年度一般会計補正予算(第1号)について

質疑 学術政策員報酬の具体的内容は

答弁 市は広報戦略として、民間企業等で広報業務について専門知識や経験のある人を、広報アドバイザーとして「広報おの」の企画・編集やメディア向けの情報発信について指導助言を受け、市担当者のスキルアップを図ります。

学術政策員は、元大手新聞社を退職された記者さんで、北播磨地域の情勢に明るく、またライフワークとして考古学や歴史に詳しく、その豊富な知識や経験を生かした歴史ジャーナリスト・フリーライターとして活躍されており、より客観的かつ市民の目線で物事を判断できる人として期待しています。(総務部長)

質疑 日本脳炎予防接種経費増額について

答弁 マウス脳由来のワクチン接種の副作用で、差し控えられていた日本脳炎予防接種は、抗体を持つ児童数の減少や海外渡航で罹患する危険性から、また新たな不活化ワクチンの開発で副作用の危険性が解消されたことから、3歳児対象の第1期予防接種を積極的に推進するため補正したものである。
(市民福祉部長)

質疑 子宮頸がん予防接種費補助について

答弁 子宮頸がんは、ヒトパピロマウイルスの感染が原因で発症する事が確認され、予防できるガンとして、ワクチンの接種が09年10月に認可されました。

市では、女性の心身の健康課題への一層の支援を図り安心で安全な地域づくりを推進するため、子宮頸がん予防接種費用を半額助成します。対象者は小6〜中3までの女兒・女生徒で任意の接種となります。

(市民福祉部長)



議案質疑

改革クラブ

河島 信行 議員

経費を計上しています。

なお、接種費用について、1回あたり7,500円、3回を上限に、費用の半額を助成します。

子宮頸がん予防ワクチンの助成制度を始めるにあたって、女性の健康管理に対する意識啓発にも取り組んでいきます。(市民福祉部長)

平成22年度一般会計補正予算(第1号)について
質疑 「学術政策員」報酬90万円の具体的内容と目的について

答弁 広報業務の専門知識や経験のある学術政策員を7月から広報アドバイザーとして1名配置するための経費です。

このアドバイザーの役割は、「広報おの」の企画・編集などの市政情報発信の助言や指導です。

目的は、市民へのよりわかりやすい情報提供や市外への情報発信を効果的にすることです。(総務部長)

質疑 「子宮頸がん予防接種」経費、680万円の目的と具体的内容について

答弁 ワクチン接種の助成対象者は、小学校6年生から中学校3年生までの女子で、接種率などを勘案し、本年度は300人、延べ900回分の

質疑 「特別支援教育推進事業」24万円の目的と具体的内容について

答弁 目的は、普通学級に在籍する発達障害児及びすべての障害ある児童生徒に対する特別支援教育を総合的に推進するために、専門家を各学校に派遣して、各学校の具体的な事例を基に教員への支援・助言を行い、各学校の特別支援教育への支援体制を強化します。

具体的内容は、中学校区毎の教職員研修4回及び小学校への巡回相談・指導助言8回、合計12回分の講師謝金18万円と専門家及び学校生活支援教員の旅費4万8千円が主です。(教育次長)



議案質疑

公明党

竹内 修 議員

0万円の具体的内容について

平成22年度一般会計補正予算(第1号)について

質疑 小児細菌性髄膜炎予防接種経費560万円の具体的内容について

答弁 本年3月の定例会議で竹内修議員からご質問のあったインフルエンザ菌b型(ヒブ)・肺炎球菌ワクチン接種費用の一部を助成する経費です。

小児細菌性髄膜炎は、治療を受けても、死亡率が5%、知的障がい・聴力障がいなどの後遺症が25%と高く、その発症が、自然免疫が発達していない2歳未満の乳幼児に多いため、2歳未満の乳幼児を対象に一回あたり4千円、4回分を上限に、接種費用の半額を助成する経費で、所得制限は、設けていません。(市民福祉部長)

質疑 子宮頸がん予防接種経費680

答弁 子宮頸がんの発症の原因の大半を占めるヒトパピローマウイルス(HPV)に対するワクチンが開発され、子宮頸がんは、予防できるがんという認識が世界的に定着しつつあります。特にがん化のリスクの高い16型・18型のワクチンを未性交時の女性に接種することで、子宮頸がんの発症リスクを約30%程度まで引き下げることができるとされています。

本年度は、小学6年生・中学3年生の女子約300名のべ900回分を対象に1回あたり1万5千円の半額の7,500円、3回分を上限に助成する経費です。

なお、子宮がんの早期発見予防には、定期的な検診が絶対条件です。ワクチンは、発症リスク軽減のためのものであり、ワクチン接種の過信がないようあわせて女性の意識改革にも取り組んで行きたい。(市民福祉部長)

行政視察報告

総務文教常任委員会

7月13日(火)～15日(木)

①埼玉県狭山市

学校給食センターについて

3つの給食センターのうち、訪問した「入間川学校給食センター」は、PFIの手法を取り入れて整備し、平成21年9月から、6小学校3中学校4,500食分の給食調理を行っている。また、児童生徒のアレルギー対応等に取り組んでいる。



視察先にて活発な意見交換

②栃木県真岡市

地域づくり事業について

市民主体の地域づくり事業に取り組み、誇りと愛着の持てる個性豊かな地域の創造を目指している。「ふれあい、安全安心、福祉、健康、道路愛護、ゴミ減量」等の事業があり、市は、地区からの申請を受けて支援している。

③茨城県龍ヶ崎市

コミュニティバスの運行について

自家用車依存から公共交通への転換を図り、環境負担の軽減や交通事故の減少を目指している。また、移動困難者の移動手段として活用が図られている。当該バスは「こども110番」のバスとして、緊急時の市民の安全安心をサポートしている。

民生保健常任委員会

7月20日(火)～22日(木)

①北海道石狩市

ごみの減量化について

石狩市では、平成12年度から(重量比)約4割強のごみを削減した実績があり、そのとりくみの具体策について視察を行った。

②北海道旭川市

病院経営について

小野市民病院の経営改善についての対策に加え、三木市との統合病院である北播磨総合医療センターの開業を控え、ほぼ同規模である旭川市民病院の経営の現状及び課題について視察を行った。

③札幌市社会福祉協議会

福祉まち事業について

福祉サービスには自治体が行うものと、社会福祉協議会など民間で行うものが複雑に関連しあって存在する。自治体と社会福祉協議会の連携による福祉サービスの充実の可能性について視察を行った。



札幌社会福祉協議会で福祉関連器具を視察する委員

地域振興常任委員会

7月13日(火)～15日(木)

①長野県諏訪市

まちづくり市民協議会について

市民と行政が互いにタイアップし、「ともに生きるまちづくり構想」をもとに、市民参加型のまちづくりを実現している。よくある提案型の組織ではなく、実施型の市民組織である。

②山梨県甲州市

果樹の農業振興推進事業について

平成17年に新市になり策定された「甲州市農業振興地域整備計画」等に基づき、農業の担い手育成と組織の強化や環境保全対策と病害虫予防対策等の農業経営

の支援施策を実施し、全国有数の果樹産地の農業振興を推進している。



モモの果樹園視察

③神奈川県逗子市

まちづくり基本計画について

多くの市民の参加を得て作成された「まちづくり基本計画」の素案が基になっている。「30年後の逗子の姿」に焦点を当て、目指すべきまちづくりの方向性を明確に提示し、テーマごとの目標と方針を示している。

◎ 議会の動き ◎

【5月】

- 8日 小野市保育所連合保護者会代表者会総会
 〳 かじやの里メッセみき竣工式(三木市)
- 10日 会派代表者会
 〳 議員協議会
 〳 北播磨総合医療センター企業団議員協議会(三木市)
- 11日 臨時市議会
- 13日 全国市議会議長会自治体病院経営都市議会(東京)
- 16日 ボーイスカウト30周年記念式典
- 18日 市議会報編集委員会
 〳 議員互助会役員会
 〳 行政視察受け入れ(茨城県高萩市)
- 18日～21日 市議会議員特別セミナー(大津市)
- 19日 女性団体連絡会総会
 〳 ひまわり会定期総会
- 22日 シルバー人材センター通常総会
 〳 更正保護女性会総会
- 23日 小野市消防操法大会
 〳 全国みどりの愛護のつどい(三木市)
 〳 中兵庫少年剣道大会
 〳 陸上自衛隊青野祭
- 24日 議会運営委員会
 〳 市議会報編集委員会
- 25日 東播磨南北道路建設促進期成同盟会(加古川市)
- 26日 防災会議
- 26日～27日 全国市議会議長会総会(東京)
- 27日 北播磨消防協議会総会
 〳 北播政経懇話会(加東市)
- 28日 遺族会総会
 〳 農会長総会
- 29日～30日 全国ハープサミット小野大会
- 31日 本会議(第1日)

【6月】

- 2日 近畿市議会議長会監事会(堺市)
- 5日 小野市保健衛生推進協議会総会
- 12日 小野市詩歌文学賞・短歌フォーラム
- 14日 議会運営委員会
- 16日 本会議(第2日目)
- 17日 本会議(第3日目)
- 18日 小野市観光協会通常総会
 〳 小野市防犯協会総会
- 19日 加古川市市政60周年記念式典(加古川市)
- 22日 総務文教・民生保健・地域振興常任委員会
- 24日 本会議(第4日目)
- 29日 地域振興常任委員会研修会
- 29日 北播磨総合医療センター企業団議員協議会(三木市)
- 30日 小野市都市計画審議会

【7月】

- 1日 総務文教常任委員会研修会
- 2日 北播衛生事務組合議会(加東市)
 〳 民生保健常任委員会研修会
- 9日 兵庫県市議会議長会理事会(朝来市)
- 11日 北播地区消防操法大会(三木市)
- 13日～15日 総務文教常任委員会行政視察(狭山市・真岡市・龍ヶ崎市)
 〳 地域振興常任委員会行政視察(諏訪市・甲州市・逗子市)
- 16日 北播肢体不自由児機能回復訓練施設事務組合議会(加東市)
 〳 播磨内陸医務事業組合議会(加東市)
 〳 行政視察来市(潮来市)
- 20日 国道175号整備促進期成同盟会総会(西脇市)
 〳 近畿市議会議長会理事会(堺市)
- 20日～22日 民生保健常任委員会行政視察(石狩市・旭川市・札幌市)
- 21日 市議会報編集委員会
- 23日 兵庫県市議会議長会総会(豊岡市)
- 26日 行政視察来市(湖西市)
- 28日 行政視察来市(豊橋市・東京都北区)
- 29日 リンゼイ市親善訪問団歓迎会
- 30日 行政視察来市(高梁市・富里町・高知市)
- 31日 小野市ひまわり杯少年野球大会

吉田成宏議員が兵庫県知事から功労者表彰

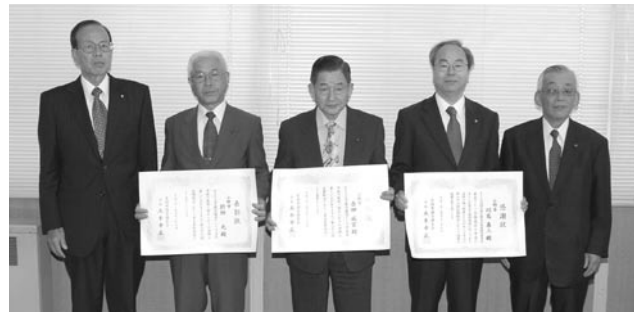


平成22年5月18日(火)兵庫県公館において開催された兵庫県功労者表彰授賞式において、吉田成宏議員が功労者表彰を受けました。

全国市議会議長会から表彰と感謝状が贈られました

鈴垣 元議員と吉田成宏議員が全国市議会議長会会長表彰(議員15年)を受けました。

また、川名善三議員が産業経済委員会委員を務めたことに対し、感謝状の贈呈を受けました。



写真左から、石田喜久男議長、鈴垣 元議員、吉田成宏議員、川名善三議員、河合俊彦副議長

9月定例会日程

9月定例会の日程が決まりました。

- 9月3日(金) 本会議(第1日) 10時～
- 9月21日(火) 本会議(第2日) 10時～
- 9月22日(水) 本会議(第3日) 10時～
- 9月30日(木) 本会議(第4日) 13時30分～

本会議の第2日と第3日は、議員の質疑、一般質問があります。

議員からは提出議案の質疑、市政全般にわたる一般質問を行い、これに対して市長・部長が答弁します。

傍聴お待ちしております!!

「見聞コーナー」開設します

9月21日(火)・22日(水)

ご希望の方は9月13日(月)までに議会事務局までお申込みください。

